



Y.Machida

ジャパン・オータムインターナショナル ロンジン賞

第44回 ジャパンカップ (GI)(国際招待)

THE JAPAN CUP

1着 賞500,000,000円 2着 165,000,000円
 本 賞500,000,000円 165,000,000円
 付加賞 2,982,000円 639,000円
 639,000円



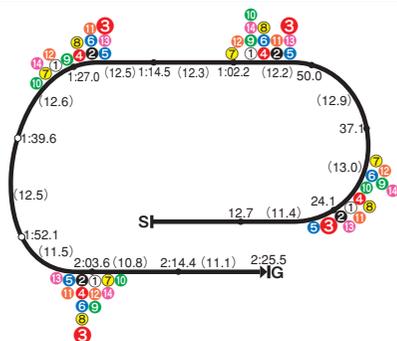
レース映像は
 コチラでご覧
 いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 3歳56⁺、4歳以上58⁺、牝馬2⁺減

2024.11.24 東京 晴・良 芝2400m (国際) (指定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	③	ドウデュース	牡 5	58	武 豊	2:25.5	13-12-12-7	32.7	510(+6)	2.3①	友道康夫(栗東)	125
2	⑦	シンエンペラー	牡 3	56	坂井瑠星	クビ	1-1-2-2	33.1	488(-)	26.8②	矢作芳人(栗東)	123
2	⑩	ドゥレツァ	牡 4	58	W.ビュイク	同着	6-3-1-1	33.4	470(-)	16.2⑦	尾関知人(美浦)	123
4	⑨	チェルヴィニア	牝 3	54	C.ルメール	2½	3-3-6-4	33.4	494(+4)	4.0②	木村哲也(美浦)	115
5	④	ジャスティンパレス	牡 5	58	C.デムーロ	アタマ	7-7-7-7	33.3	468(-2)	6.2③	杉山晴紀(栗東)	119
6	①	ゴリアット	騾 4	58	C.スミヨン	アタマ	9-3-4-4	33.5	496(-)	15.8⑥	F.クラファル(仏国)	119
7	⑫	スターズオンアース	牡 5	56	川田将雅	½	3-3-2-2	33.8	500(-)	12.7⑤	高柳瑞樹(美浦)	114
8	⑧	オーギュストロダン	牝 4	58	R.ムーア	½	7-7-7-7	33.5	454(-)	9.8④	A.オアライ(愛国)	117
9	⑨	ダノンベルエガ	牡 5	58	松山弘平	ハナ	3-7-9-7	33.4	492(-6)	106.4⑩	堀 宣行(美浦)	117
10	⑬	シュトルヴェ	騾 5	58	鮫島克駿	½	14-12-12-12	33.4	478(+8)	83.9⑩	堀 宣行(美浦)	116
11	⑬	ファンタスティックムーン	牡 4	58	R.ビヒュルク	1½	11-12-12-14	33.5	440(-)	89.5⑩	シュヴァルグラン(独園)	114
12	⑭	ブローザホーン	牡 5	58	菅原明良	½	11-10-9-7	33.8	430(+4)	61.4⑩	吉岡辰弥(栗東)	113
13	⑪	カラテ	牡 8	58	杉原誠人	½	9-10-9-12	33.8	530(+4)	277.9⑭	音無秀孝(栗東)	112
14	⑫	ソールオリエン	牡 4	58	横山武史	6	2-2-4-4	35.2	476(+8)	35.7⑨	手塚貴久(美浦)	103

単勝③230円(1½%) 複勝③150円(1½%) ⑦470円(8½%) ⑩340円(5½%) 枠連③-⑥320円(2½%) ③-⑥190円(1½%)
 馬連③-⑦1,510円(12½%) ③-⑩1,150円(8½%) ワイド③-⑦980円(10½%) ③-⑩800円(8½%) ⑦-⑩2,990円(33½%)
 馬単③-⑦1,890円(13½%) ③-⑩1,540円(9½%) 3連複③-⑦⑩12,230円(38½%)
 3連単③-⑦⑩22,390円(133½%) ③-⑩⑦18,940円(110½%)
 5重勝⑥①②③2,188,370円(255票) 対象競走: 東京10R/京都10R/東京11R/京都11R/東京12R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
 37.1 - 50.0 - 1:02.2 45.9 - 33.4

アラカルト

- ・武豊騎手はキタサンブラックで制した16年に続くジャパンC 5勝目(歴代単独トップの勝利数)。JRA重賞は24年6勝目、通算363勝目
- ・友道康夫調教師はシュヴァルグランで制した17年に続くジャパンC 2勝目。JRA重賞は24年7勝目、通算70勝目
- ・ハーツクライ産駒はJRA重賞通算87勝目
- ・日本馬の勝利は06年ディーブインパクト以降19連勝
- ・5歳馬の勝利は22年ヴェラズールに続く通算14回目

ドウデュース *Do Deuce*

牡 鹿毛 2019.5.7生
 北海道安平町 ノーザンファーム生産
 馬主・榊キーンファーズ 栗東・友道康夫厩舎
 馬名意味・する+テニス用語(勝利目前の意味)

ダストアンドダイヤモンドUSA系 F3-d

ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	アイリッシュダンス 鹿毛 1990	トニービンIRE ビューバーダンスUSA
ダストアンドダイヤモンドUSA Dust and Diamonds 鹿毛 2008	Vindication 黒鹿毛 2000	Seattle Slew Strawberry Reason
	Majestically 黒鹿毛 2002	Gone West Darling Dame

5代までのインブリード: Hail to Reason S4×M5 Lyphard S4×M4

INTERVIEW

木村純一 厩舎長(ノーザンファーム空港)

一生の思い出になります

レースは競馬場で見ました。天皇賞(秋)よりも状態はいいと大江祐輔調教助手から聞いていましたが、パドックを周回する姿を見て納得しました。スローの展開となったなか、後方からポジションを上げていったときには、まさに人馬一体の走りができていたと思いました。口取りでは芝コースの中に入れてもらいました。そこから見た光景は一生の思い出になります。

Y.Machida



身上の瞬発力を世界にアピール!

英ダービーをはじめ、G1・6勝の実績を誇るアイルランド生まれのディープインパクト産駒オーギュストロタン、キングジョージVI世&クイーンエリザベスSを完勝したゴリアット、ドイツのG1・2勝馬ファンタスティックムーンと、強力な外国馬が参戦。近年屈指の国際色に包まれたジャパンCを制したのは日本の総大将だった。秋の天皇賞で鮮やかな追い込みを決め、復権を果たしたドウデュースが、身上の瞬発力とその持続力を世界に向けて発信。間近に迫ってきた引退、種牡馬入りを前に、秋の「古馬中長距離三冠制覇」に王手をかけた。

逃げ馬不在の顔合わせから、凱旋門賞遠征帰りのシンエンペラーが意欲的に飛び出して先手を奪取。しかし向正面に入るとドウレッツァが中団から動いて主導権を握る。ゴリアットは好位集団のインに収まり、対抗候補と目されたテェルヴィニアがその外を奔走。3番人気のジャスティンパレスとオーギュストロタン、2頭のディーフィンバクト産駒は並んで中団につけ、牝馬二冠馬の背後を進んだ。

一方、前進氣勢を露にするドウデュースをなだめつつ、先頭から10馬身余り離れた最後方で折り合いに専念した武豊騎手は3コーナー過ぎから進出を開始。「少し手綱を緩めた程度」でも小気味よく加速したドウデュースはたちまち前に迫り、直線の坂の上りで先頭に躍り出る。馬群の外々を回って早めに動いたぶん、ラスト200mは脚勢が鈍ったものの、ドウレッツァとシンエンペラーに反撃されるともうひと踏ん張り。同着で2着を分けた2頭をクビ差に従えてゴールを駆け抜けた。

2歳時の朝日杯フューチュリティSを皮切りに毎年、頂点のタイトルを手にしてきた本馬はこれでG1通算5勝目をマーク。過去3回の海外遠征は天運にも恵まれず不本意な結果に終わったが、世界が注目した大舞台で悔しさの一片を晴らした。次走はいよいよラストランとなる有馬記念。「古馬中長距離三冠制覇」と連覇をかけて臨む一戦で、大団円の勝利を飾るか。

父ハーツクライ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央、首、英19戦5勝(ドバイシーマクラシック・首^{G1}、有馬記念^{G1}、京都新聞杯^{GII})、最優秀4歳以上牡馬、07年から供用、21年引退、23年死亡。19年日本リーディング2位
 [(代表産駒)ドウデュース(本馬)、リスグラシュー(コックスプレート・豪^{G1}、有馬記念^{G1})、ジャスタウエイ(ドバイデュティフリー・首^{G1}、天皇賞(秋)^{G1})、ヨシダJPN Yoshida(ウッドワードS・米^{G1}、ターフクラシックS・米^{G1})、ワンアンドオンリー(日本ダービー^{G1})、ヌーヴォレコルト(オークス^{G1})、スーヴリチャード(ジャパンC^{G1})、シュヴァルグラン(ジャパンC^{G1})、アドマイヤラクティ(コーフィールドC・豪^{G1})、他に重賞勝ち馬多数

母ダストアンドダイヤモンドUSA

北米11戦6勝(ギャラントブルームH^{G2}、シュガースワールS^{G3}、ダッシングビューティS、BCフィーリー&メアスプリント^{G1}2着)、16年輸入
 レガリニUSA(14 牝父Hardspun)北米13戦1勝、輸入繁殖牝馬
 アマダラファエラ Amada Rafaela(15 牝父Distorted Humor)北米2戦1勝
マッチベター Much Better(16 駢父Pioneerof the Nile)北米41戦7勝
 (ペイショアS^{G3}2着、ズームビーチS・L2着、シャムS^{G3}3着)
 フラーレン(17 牝父Pioneerof the Nile)持込 中央19戦4勝(JRAアンバーサリーS、矢作川特別)、地方2戦0勝
 ロンズデーライト(18 牝父ディーインパクト)中央14戦2勝 @
ドウデュース 本馬(19 牝父ハーツクライ)中央13戦8勝(ジャパンC^{G1}、日本ダービー^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}、朝日杯フューチュリティS^{G1}、京都記念^{GII}、アイビーS・L、弥生賞ディーインパクト記念^{GII}2着、卓月賞^{G1}3着)、仏、首3戦0勝、獲得総賞金1,775,875,800円、最優秀2歳牡馬

ダストテイル(20 牝父ロードカナロア)中央1戦0勝

(21 不受胎)

エンダードラゴン(22 牝父リアルスティール)@

(23 牝父シルバーステート)

(24 牝父コントレイル)

祖母マジェスティカリー Majestically

アメリカ産 北米2勝

ダストアンドダイヤモンドUSA(08 前出)

サンドラII(12 牝父Bluegrass Cat)北米1勝(キーセンツS2着)、輸入繁殖牝馬、ウォーターズエッジ Water's Edge(ヘイネスフィールドS・米)の母